

京都大学教授就任

## 数学教室の教授となって

加藤 周

昨年 11 月 1 日付で准教授から昇任いたしました。

1994 年に入学してから 2003 年に学位を取得し、ポスドク研究員期間を経て 2007 年に数理解析研究所に助教で採用されるまでの 13 年間で東大で過ごしたのですが、すでに京都大学に奉職してからの歳月のほうが長くなりました。2010 年に数学教室に移ってからは、研究に加えて教育にも携わらせていただき、何人かの印象深い学生と出会うことができました。彼らが飛躍するステップに立ち会えたことはとても幸運であったと思います。

さて私は、ルート系と関わる代数系の表現論を幾何学的に研究するという、いわゆる幾何学的表現論を専門にしています。ルート系は単純リー群の分類のラベルと思えるものですが、それらから自然に (任意の体上の) 代数群、量子群、アフィン・リー代数 (頂点作用素代数) などといった代数系を構成することができます。そういったなか私は既存のもの“変形”や“ループ化”として捉えられる多様体およびその上の構造物を用いて上記の代数系の表現論やそれらの間の関係を理解することに興味を持って研究をしてきました。今後は今までの研究をさらに深めてくことでより多くの代数系を結びつける枠組みを探りつつ隣接分野との関係も探究していければと思います。

また、これからは研究・教育に加えて、運営面でも数学教室に貢献してゆけるように力を尽くしてまいりたいと思います。教室の運営に関してはまだ分からないことだらけですので、今後ともみなさまのご指導ご鞭撻をお願いいたします。